

2011 年度事業報告

2012 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

目 次

1. 環境エンリッチメント推進事業
 - エンリッチメント大賞
 - エンリッチメントに係る調査・協力
2. 動物園等に関する調査研究事業
 - 動物園関連情報の収集・公開、調査研究
 - 動物園等に係る各種協力・助言
 - 各種団体との連携
3. 動物園等に関する普及啓発事業
 - ワークショッププログラムの開発・実施
 - セミナー・勉強会
 - 情報発信
 - 取材対応等
 - 書籍等
4. 人材育成事業

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第9回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援: (社)日本動物園水族館協会
- ・募集期間: 2011年5月1日～6月30日
- ・応募結果: 応募総数 57件
- ・審査方法: 下記5名(うちオブザーバー1名)の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで審査委員会を開催(9月24日)して二次審査をおこない、受賞者を決定した。審査結果は、10月16日に公表した。受賞者には受賞盾を授与した。
- ・審査委員会: 正田 陽一 氏(東京大学名誉教授)
松沢 哲郎 氏(京都大学霊長類研究所教授)
ロニー・アレキサンダー 氏(神戸大学国際協力研究科教授)
川端 裕人 氏(作家)
オブザーバー: 岩田 恵理 氏(いわき明星大学生命環境学科准教授)
- ・審査結果: 大賞 3件
 - ▼動物園人賞 椎名修さん(愛媛県立とべ動物園)
 - ▼施設賞 ペンギンヒルズ(埼玉県こども動物自然公園)
 - ▼特別賞 水流への取り組み(東京都葛西臨海水族園)
- ・受賞者講演会: 2011年12月4日に東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区)にて、「エンリッチメント大賞表彰式&講演会」を実施した。表彰式や受賞者の代表(3名)による記念講演のほか、小菅正夫氏(前旭川市旭山動物園園長)による基調講演やエンリッチメント大賞10周年企画「みんなで選ぶ10年間のエンリッチメント大賞」なども開催した。

●エンリッチメントに係る調査・協力

- 1) 2012年5月12日(日)(雨天のため11日より順延)、日立市かみね動物園のチンパンジー舎植樹祭(第3回)イベントへのボランティアスタッフの募集・参加協力(参加:2名)

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園関連情報の収集・公開、調査研究

- ・動物園関係書籍、パンフ、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEBサイトで動物園や研究会情報等の提供をした

●動物園等に係る各種協力・助言

- 1) (社)日本動物園水族館協会による、東日本大震災被災園館への見舞金受け付けの広報協力および、見舞金配分委員会への外部委員としての参加(大橋民恵)
- 2) (社)日本動物園水族館協会の広報戦略会議に関わる業務の協力(2012年度以降も継続)

●各種団体との連携

1) SAGA(アジア・アフリカに生きる大型類人猿を支援する集い)14

2011年11月12日(土)、13日(日)に熊本市動植物園で開催されたSAGA14にて、ブース展示をおこなった。

2)動物園研究会

2011年9月3日(土)および2012年3月10日(土)(於・日本大学歯学部)に開催された動物園研究会の運営協力をおこなった。

3)NPO法人 東山動物園くらぶ

2011年10月2日(日)、8日(土)、9日(日)に名古屋市東山動物園で開催された「東山子どもガイド2011」の企画に後援協力した。また、6月17日(金)、2012年2月21日(火)開催のセミナー、2012年4月開催の『東山動物園検定』の広報協力をおこなった。

4)NPO法人 サンクチュアリ・プロジェクト

イベントなどの普及活動に協力した。

5)NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン

イベントなどの普及活動に協力した。

6)日本獣医生命科学大学・井の頭自然文化園・多摩動物公園 共同事業

大学動物園共同連続講座「地球のいのち～野生との共存～」の広報協力をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●ワークショッププログラムの開発・実施

1)和光大学「動物と人間の関係史」(堂前雅史教授)への協力。2012年1月10日(火)の講義(大崎康平担当、木村幸一郎氏(市民ZOOネットワークサポーター/東京都鳥獣保護員)協力)および、1月17日(火)多摩動物公園でのワークショップ開催(大崎担当)をおこなった。

●セミナー・勉強会

1)2010年度サポーター発表会(震災の影響により2011年3月29日(水)から延期)

・2011年4月30日(土)、地球環境パートナーシッププラザにて開催

・発表者

森由民(動物園ライター)「可愛くって食べさせたい」

斎藤健太(象学生)「川崎市夢見ヶ崎動物公園について」

木村奈津子(一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程)「ユキヒョウを守るとはどういうことか:海外組織における域外保全の取り組みから」

2)京都市動物園・市民ZOOネットワーク共同セミナー「動物園の飼育員 アフリカに行く!」～動物園飼育にどう活用するか?～

・2011年9月10日(土)、京都市動物園動物図書館視聴室にて開催

・講師:高木直子氏(京都市動物園 飼育員・キリン担当)

3)2011年度サポーター発表会

・2012年3月14日(水)、地球環境パートナーシッププラザにて開催

・発表者・内容

森由民(動物園ライター)「モチーフとしての動物園 ～鶴のごときライターとして～」

大崎康平(帝京科学大学)「海外動物園紀行」

市民 ZOO ネットワークに関する意見交換会(話題提供:大橋民恵)

●情報発信

1)ニューズレター

ニューズレターを2回(第 31 号、32 号)発行した。

・第 31 号発行(2011 年 4 月)(特集:エンリッチメント大賞 2010 表彰式&講演会/ニューズレター30 号
記念特集:あの個はいま)

・第 32 号発行(2011 年 11 月)(特集:エンリッチメント大賞 2011 発表! /国際環境エンリッチメント会議
参加報告/ニューズレター30 号記念特集:あの個はいま)

2)メールニュース

・電子メール版を月 1 回配信した

・配信数は 979 アドレス。(2012 年 6 月 1 日現在)(前年度比+4 アドレス)

アドレス数内訳 市民 ZOO サーバ:734(+4)、まぐまぐ!:(+1)、melma! :100(-1)

3)WEB サイト/ブログ

・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

●取材対応等

動物園等に係る多数の取材に対応した。(年間 10 件程度)

・NHK 近藤有氏 NHK 総合「ディープ・ピープル」動物園飼育員・ゾウ編、制作における情報提供および出演者の紹介(2011 年 6 月 6 日放送)

・よみうりテレビ 川内一恵氏 「ZIP!」近畿ローカル枠内「おしえて! 辛坊さん」のコーナーで使用する
シェンブルン動物園の写真(落合知美撮影)の提供(2011 年 6 月 22 日放送)

・東京新聞 石井友恵氏 東京新聞(2011 年 7 月 16 日)暮らし面「真夏の動物園ズームアップ」の取材
対応(さとうあきら(動物写真家として)および綿貫宏史朗)

・(株)ノマド 佐竹麻美氏 TBS「夢! どうぶつ大図鑑」制作における動物園に関する情報提供

・NHK ラジオセンター 和田 成弘氏 NHK ラジオ第一「つながるラジオラジオ井戸端会議」動物園
特集(2011 年 10 月 17~19 日の 3 日間)への情報提供及び、エンリッチメント大賞特集として大
橋民恵が出演(2011 年 10 月 19 日放送)

・テレビ朝日 松山佳仁氏 テレビ朝日「モーニング・バード!」制作における、エンリッチメント大賞や
椎名脩氏(愛媛県立とべ動物園)、アフリカゾウなどに関する情報提供(2011 年 10 月 21 日放送)

・朝日学生新聞社大阪支社 清田哲氏 朝日小学生新聞(2011 年 11 月 6 日)における、エンリッチメント
大賞に関する情報提供

・NHK 山下健太郎氏 NHK 総合「おはよう日本」制作における、エンリッチメント大賞に関する情報提
供や国内のゾウの専門家の紹介(2011 年 11 月 10 日放送)

・(株)ビスポ 林裕一氏 名古屋テレビ「キングコングのあるコトないコト」制作における動物園・動物一般
に関する情報提供(2011 年 11 月 28 日放送)

- ・(株)スーパー・ブレーション 菅原将士氏 NHK-FM「元春レイディオ・ショー」内「グリーンピープル」のコーナーにて市民 ZOO ネットワークの近況報告として綿貫宏史朗が出演(2012年2月7日)
- ・(株)常創サクラサクラライフ編集部 布施敦子氏 地域情報マガジン『サクラサクラライフ 2012年4月号』へ掲載の日立市かみね動物園の写真提供依頼の対応(綿貫宏史朗);発行は次年度

●書籍等

- 1)産学官連携ジャーナル 2011年5月号 特集:動物園の可能性 にて「科学技術政策の視点からの動物園」掲載 綿貫宏史朗と牧慎一郎氏(文部科学省 科学技術政策研究所 企画課長/TV チャンピオン「全国動物園王選手権」チャンピオン)の共著
- 2)文永堂出版『動物園学』村田浩一・楠田哲士監訳(2011年8月発行)の編集・翻訳に、大橋民恵(第7章「動物福祉」編集、第7章序論・4・5・まとめ以降翻訳担当)、落合知美(第8章「環境エンリッチメント」編集、第8章序論・1~3・5・7・まとめ以降翻訳担当;京都大学霊長類研究所の所属として)、綿貫宏史朗(第15章「動物園が有意義なものであるために」翻訳担当)が参加
- 3)エンリッチメント大賞 10周年記念冊子『HOW TO エンリッチメント<素材編>』(ニューズレターでの連載誌面の総集編)を発行(2011年12月)

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して、適宜情報提供等をおこなった。